

南側道路の駐車スペース

間取りの計画は、敷地の計画から始めるべきだろうと思います。

駐車スペースをどこにして、アプローチや玄関をどうするかなどです。

そこで、今回は南側道路の駐車スペースの例を紹介します。

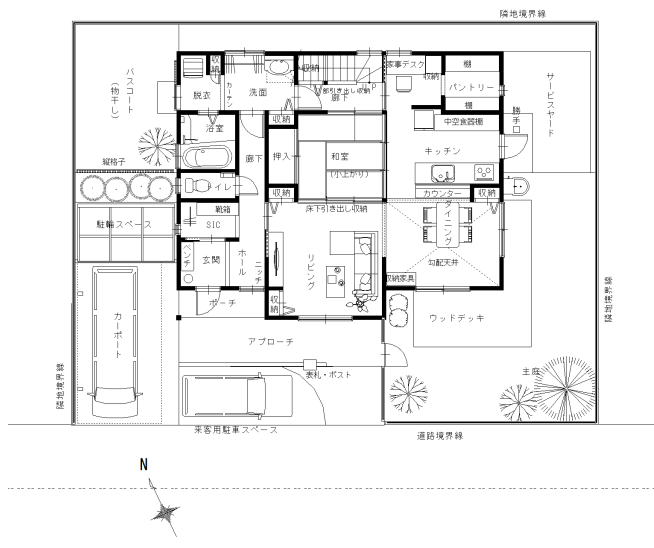
※駐車スペース 幅 助手席側 300 mm + 車幅 + 運転席側 700 mm
奥行 車の前 300 mm + 車長 + 車の後 300 mm

1 南側道路の特徴

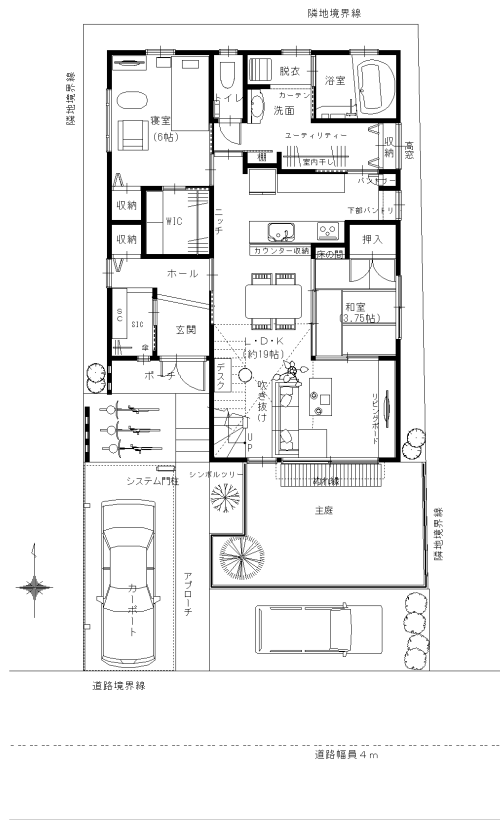
- ・ 前面が空いているので日当たりはいい。
- ・ 建物の外観を強調できる。
- ・ 道路と建物が遠くなり、静かである。
- ・ アプローチを南側道路からとることで、庭がアプローチにより分断されることもある。
- ・ 道路から庭や室内が見える。
- ・ 間口の狭い土地だと1つしか南側に部屋が取れない場合もある。
- ・ 南の庭を駐車スペースにとられる。
- ・ 坪単価が高い

2 プランニング上のポイント

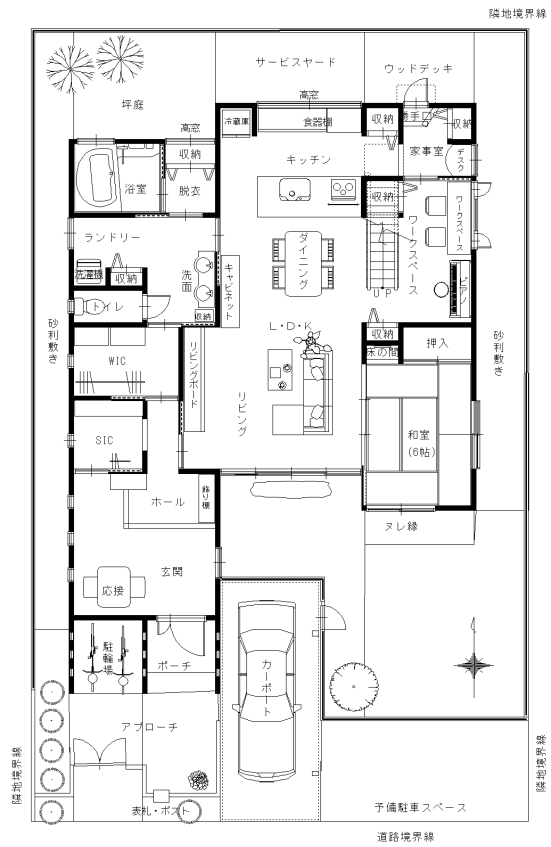
プランニング上のポイントは南側道路の特徴を踏まえてプランニングすることだと思います。特にデメリット対策です。例えば、道路から庭や室内が見えないようにすることです。そのためにも、アプローチを含め、玄関の位置、駐車スペースの位置などを工夫したいものです。もし、敷地が狭く庭が広く取れないとか、道路からの視線防止ができないようであれば、逆転プラン等を考えることで対応したいのもです。あるいは、南面に玄関を配置する関係でLDKが縦長になる場合には、吹き抜け等で日当たりや明るさを確保することも考えたいものです。



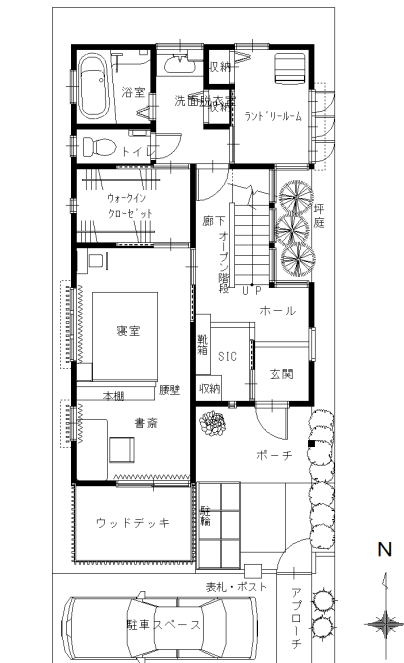
間口の広い例



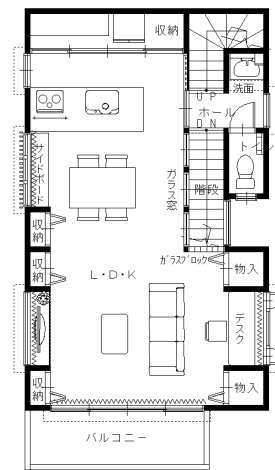
間口 10 m の例



間口 12 m の例



配置図兼 1階平面図 1/100



2階平面図 1/100

逆転プランの例

逆転プラン